

高齢化が進む郊外住宅団地における ラストワンマイルを支える移動手段の充実活動

メンバー

実施者：一般財団法人 若葉台まちづくりセンター

連携団体：EJWSDGsデザインセンター、MONET Technologies (株)、横浜市旭区、神奈川県住宅供給公社

活動目的

丘陵地にあり高齢化が進む郊外住宅団地において、「ラストワンマイル」を支える移動手段を充実させ、将来的には、人だけではなく、モノやサービスの移動を「デマンド」で実施できるようにし、社会課題の解決を通じた団地の付加価値向上を図る。また、行政支援に頼るのではなく、地域主体、民間主体による持続可能な運営スキームを構築する。

対象地域の概要

対象地域：神奈川県横浜市旭区若葉台団地

(人口) 約14,000人

(世帯数) 約6,700世帯

(高齢化率) 約50%



取り組み内容

① デマンドバスの運行事業

無料のルート運行バス「わかば号」と並行してデマンドバスを運行し、地域におけるラストワンマイルの充実を図る。1年目は需要の把握と地域内への浸透を図るために無料で運行し、2年目以降有料化に切り替えて実証実験を実施し、3年目以降の本格サービス化に備える。

② 施設連携、事業者間連携

デマンドバスの運行にあたって、地域内外にある施設(福祉施設、保育施設)と連携するほか、商業者や運行事業者などとも連携・調整を図りながら、持続可能な地域主体の事業スキームの構築を目指す。



2019年度の活動実績

- ・ デマンドバス運行の実証実験
- ・ 持続可能な地域主体の事業スキーム検討 (地域内外関連施設との連携調整を含む)
- ・ 地域内外への広報活動 (スマホの使い方教室、施設説明会などの実施)

期待される成果

高齢化が進む当該エリアにおける移動困難者の移動充実、地域の経済活動活性化、団地の付加価値向上による流入人口の増加

アピールポイント

行政支援に依存せず、民間事業者を巻き込みつつ、地域が主体となって構築する持続可能な移動環境モデル